

## 令和7年度 小値賀町総合教育会議次第

と き：令和7年7月29日（火）14:30～16:00

ところ：役場3階第4会議室

■開 会（進行：未来創造課 田川）

1. 町長挨拶

2. 協議事項

（1）北松西高等学校の存続について

（2）ふるさと留学の体制整備について

（3）その他

令和7年度 小値賀町総合教育会議参加者名簿

役 職	氏 名	備 考
小値賀町長	西 村 久 之	
小値賀町教育長	中 村 慶 幸	
小値賀町教育委員	中 村 好 秀	
小値賀町教育委員	升 水 裕 司	
小値賀町教育委員	浦 い せ 子	
小値賀町教育委員	横 山 明 美	
事 務 局	氏 名	
教育次長	牧 尾 豊	
教育生涯学習班長	山 元 忍	
教育総務係長	坂 井 翔	
未来創造課長	升 水 浜 生	
未来創造班長	田 川 昌 義	

## ■ 本町教育の基本的な考え方

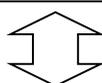
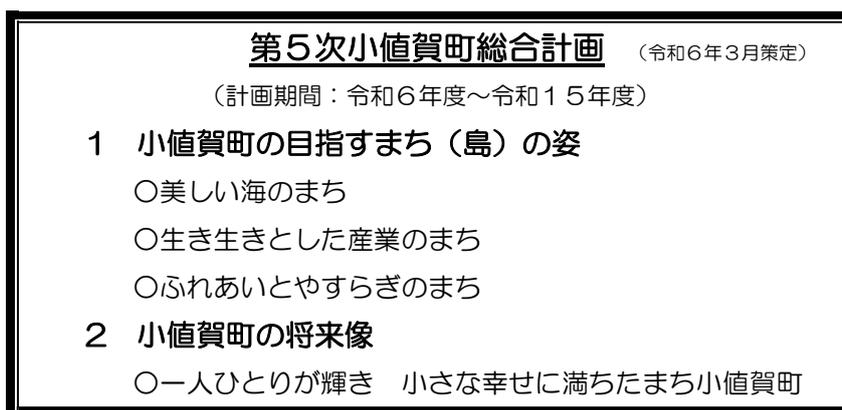
本町の町民憲章に謳われている「すすんで学び、ともに伸びゆく心豊かな教育の町」を目指して、「小値賀町教育方針」及び「小値賀町教育努力目標」を基本に、「第四期小値賀町教育振興基本計画」に沿って、これからの社会を担う人材を育む教育の創造に取り組んでいる。

### 1. 町民憲章（平成元年11月18日制定）

私たちは、美しい自然とふれあいのある町小値賀を、限りなく愛し、郷土の繁栄と町民の幸福を願って、この憲章を定めます。

- 一、恵まれた自然を大切に、香り高い文化の町にしましょう。
- 一、ひとの心を思いやり、やすらぎのある住みよい町にしましょう。
- 一、すすんで学び、ともに伸びゆく心豊かな教育の町にしましょう。
- 一、心とからだをきたえ、健康で明るい町にしましょう。
- 一、産業の発展に努め、活気と希望に満ちた町にしましょう。

（平成2年2月11日施行）



## 第4期小値賀町教育振興基本計画

《計画期間：令和6年度～令和10年度（5か年間）》

- 1 学校教育の充実    2 社会教育・社会体育の充実    3 文化の振興と継承

### ■小値賀町教育方針

町民の一人ひとりが、郷土及び国家社会のにない手として、その責任を自覚し、自ら生涯を通じて学び、もってすぐれた知性と創造力を身につけ、たくましい心身と実践力を持ち、地域連帯感に富む個性豊かな町民の育成を図る。このため、教育にたずさわる者は、自らの識見を高めるとともに、使命感に徹し、深い教育愛と豊かな指導力を養い、互いに相和して、本町教育の充実発展に努める。

## ■小中高一貫教育の取組みとふるさと留学、高校存続との関りについて

### (1) 令和 7 年度小中高一貫教育理念と研究主題について

本地区の一貫教育において、授業の専門性の確保、児童生徒の学力向上・社会性の確保、キャリア教育を軸とした進路保障は達成している。今後は、各校での「総合的な学習（探究）の時間」における「小値賀学」の系統性において、さらなる高みを目指し深化を図る。

（令和 6 年度研究集録 総括より）

「過疎化・少子化に伴い学校規模が年々縮小する離島において、それぞれの学校が有する教育力を可能な範囲で融合させ、教育水準の向上を図り、多様な進路希望をもつ子ども達の夢の実現が図れる教育環境を、12 年間の一貫した流れの中で構築する。」

### (2) ふるさと留学の目的

小値賀小・中学校及び北松西高校に転入学を希望する児童・生徒に対し、ふるさと留学として受入れを実施し、島の児童・生徒との学校生活や島暮らしを体験することで島の自然や文化・心の豊かさに触れ、あわせて地元の子ども達の教育の充実・向上につなげる。

また、新たな留学受入形態である孫留学・親子留学の研究と、高校生受入に深化した事業を図ることで、留学生増加による児童生徒数の維持・増加に寄与し、高校生に特化した留学生募集を行うことで小値賀町ふるさと留学の本来の目的である北松西高校存続に対する問題解決に資する。

### (3) 小値賀町総合計画と小中高一貫教育研究主題との関わり

令和 6 年度から第 5 次小値賀町総合計画がスタートし、その中における人口目標はこども人口（中学生以下の人口）について、「各学年 15 人以上を確保する」です。

その人口目標には、「こどもは、あらゆる面でまちの活力の源であり、次世代の小値賀町を担う大事な宝です。」とあり、「また北松西高校の存続問題にも直接影響し、教育水準の低下は人口減少加速化の要因となります。」と記載されています。

「各学年 15 人」の目標達成のためには、子育て環境、生活環境、仕事環境といった全ての分野が横断的に連携して各施策に取り組む必要があります、本町教育のソフトの 3 本柱である「小中高一貫教育」「ふるさと留学」「北松西高校の魅力化」に一体的に取り組む、深化させることが重要なポイントであります。

（第 5 次小値賀町総合計画、令和 6 年度研究集録より抜粋）

## ■北松西高校の現状と課題について

### (1) 第3期長崎県立高等学校改革基本方針より

(2) 学校規模の適正化

② 適正な学校規模の基準として、

イ 小中高一貫教育を実施している一島一高等学校は、該当校における第一学年の在籍者数は、10人以上を望ましい人数とする。

### (2) 北松西高校の現状

- ・生徒数 19名（1学年 8名、2学年 7名、3学年 4名）
- ・過去3か年の入学者数（令和5年度 10名、令和6年度 8名、令和7年度 8名）

### (3) 北松西高校の課題

- ・入学者数の確保・・・10名以上

### (4) 北松西高校の強み

- ・長崎県で最先端のICT教育（遠隔授業、メタバースを利用した学校行事等）
- ・きめ細やかな授業、少人数ゆえの豊富な活躍の場
- ・小中高の一貫合同行事を通じて育む豊かな社会性、人間性及びリーダー性
- ・進学から就職まで多様な進路に応じた教育課程
- ・2年連続第1希望進路達成率 100%

\*北松西高校は長崎県のICT教育最先端をゆく「オールラウンダーな普通科高校」である。

小値賀町の児童生徒数の推移「予想」							
* 令和6年度、7年度児童生徒数より算出							
* 小値賀中学校から北松西高校への進学率60%で算出。過去5年間平均65%より。							
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
小学校生徒数	79	71	74	70	63	66	60
中学校	40	41	40	38	40	34	34
高校	19	19	22	24	23	22	21
合計	138	131	136	132	126	122	115
							8
1歳児	8	8	8	8	8	8	8
2歳児	8	8	8	8	8	8	8
3歳児	10	10	10	10	10	10	10
4歳児	14	14	14	14	14	14	14
5歳児	12	12	12	12	12	12	12
小学1年生	15	14	14	14	14	14	14
小学2年生	6	5	5	5	5	5	5
小学3年生	19	15	15	15	15	15	15
小学4年生	14	14	14	14	14	14	8
小学5年生	12	11	11	11	11	6	6
小学6年生	13	13	13	13	7	7	7
中学1年生	18	16	16	9	9	9	
中学2年生	13	12	7	7	7		
中学3年生	9	8	8	8			
高校1年生	8	7	7				
高校2年生	4	4					
高校3年生	7						
* 値中から、北松西への進学率60%想定							
■算出の課題							
・転勤される職種（消防署、教職員など）の異動を考慮していない。							

# 小値賀町ふるさと留学とは・・・

留学生にとって小値賀町が、将来大人になったときに「ただいま」と言って帰ってくるような「第2のふるさと」になっていくことを目指しています。

人と人とのつながりが濃い小値賀町で、留学生が地域や町民と繋がることで学ぶことや、地域活動や小値賀の自然と共にある生活を体験し学んでいく中で、「感謝の気持ち」や「自立・共生・協調」といった「生きる力」を育むことで、小値賀の活力につなげていくことを目的としています。



## 小 値 賀 町 ふ る さ と 留 学

### 入寮型留学

ふるさと留学施設「ちかまる寮」に入居し、島暮らしを体験しながら生活を行う。

(対象)

中学1年生から高校生まで

(施設使用料) ※月額

中学生5万円、高校生6万円



### しま親型留学

しま親宅にホームステイし、小値賀の生活を体験しながら生活を行う。

(対象)

小学5年生から高校生

実親負担額 ※月額

小学生4万円、中学生5万円、高校生6万円



### 孫・親戚型留学

祖父母や三親等内の親戚(おじ・おば)宅にホームステイし、小値賀の生活を体験しながら生活を行う。

(対象)

小学5年生から高校生

留学支援補助金 4万円/月支給

※受け入れる家族への支給となり、2人目以降の留学生に対する支援補助金は1万円となります。



### 応募条件

- ・親と離れても毎日学校に通えること
- ・留学前年度に体験授業に参加すること
- ・小値賀町の離島特有の生活環境について、実親及び留学生が理解していること
- ・留学生は住民票を小値賀町に移し、留学期間中は町民となること
- ・在学学校と小値賀小学校・小値賀中学校間における留学生の円滑な受け入れを目的とした情報収集に承諾すること

